



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月30日

上場会社名 フジッコ株式会社

上場取引所 東

コード番号 2908 URL <https://www.fujicco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 正一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山田 勝重

TEL 078-303-5921

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	31,495	1.0	2,177	10.4	2,369	10.3	1,607	18.1
2020年3月期第2四半期	31,807	2.4	1,972	15.1	2,148	13.7	1,361	28.2

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,015百万円 (50.1%) 2020年3月期第2四半期 1,342百万円 (40.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	53.68	
2020年3月期第2四半期	45.48	45.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	81,136	69,770	86.0
2020年3月期	81,068	68,376	84.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 69,770百万円 2020年3月期 68,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		21.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	1.3	4,700	4.7	5,000	3.3	3,500	12.9	116.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	34,991,521 株	2020年3月期	34,991,521 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	5,035,838 株	2020年3月期	5,039,949 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	29,953,004 株	2020年3月期2Q	29,930,672 株

(注)期末自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式数が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式には、「株式給付信託(J-ESOP)導入において設定した株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)」が保有する当社株式の期中平均株式数が含まれております。なお、株式会社日本カストディ銀行は、JTCホールディングス株式会社、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社が2020年7月27日に合併し発足しました。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により経済活動は大きく制限されました。緊急事態宣言解除後は徐々に個人消費や生産、輸出について持ち直しの動きが見られるものの、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、外出自粛要請や飲食店に対する営業時間の短縮要請等により、一時的に中食、内食需要が増加したものの、感染拡大の収束が見通せない中、依然として厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、2020年11月7日に創業60周年を迎えるにあたり、「ニューノーマル」と呼ばれる不確実な時代においても安定的な収益を確保できるよう、リモートワーク体制の整備とムダを徹底して省いた生産性の高い新しい会社づくりに全社一丸となって取り組みました。

売上高は、ヨーグルト製品が前年実績を上回りましたが、昆布製品、豆製品、デザート製品、惣菜製品が前年実績を下回ったことから、314億95百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

利益面では、材料費及びエネルギー費用等の減少により売上原価率が改善したこと、販管費も全体で減少したことから、営業利益は21億77百万円（前年同四半期比10.4%増）、経常利益は23億69百万円（前年同四半期比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億7百万円（前年同四半期比18.1%増）となりました。

製品分類別の販売状況は、次のとおりであります。

惣菜製品では、昨年8月1日より連結子会社となった株式会社フーズパレットの中華惣菜の売上高が加わり、また「おぼんざい小鉢」シリーズの伸長が継続しましたが、日配惣菜が前年実績を下回ったことから、惣菜製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

昆布製品では、発売50周年を迎える「ふじっ子煮」シリーズのリニューアルを実施して更なるブランド価値向上を図りましたが、業務用チャネルの佃煮や塩こんぶの販売が大きく減少したこと等により、昆布製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

豆製品では、煮豆は前年実績並みとなりましたが、水煮・蒸し豆はPR効果で飛躍的な伸長となった前年実績を上回ることができず、豆製品全体の売上高は前年実績を下回りました。

ヨーグルト製品では、通販チャネルのサプリメント「善玉菌のチカラ」が前年実績を下回りましたが、「カスピ海ヨーグルト」シリーズの継続的な伸長に加え、2020年3月に新発売した「大豆で作ったヨーグルト」のTVCMなどプロモーションを強化したことから、ヨーグルト製品全体の売上高は前年実績を上回りました。

デザート製品では、「フルーツセラピー」において、期間限定商品「温州みかん」等の投入により品群全体の活性化に注力しましたが、デザート製品の売上高は前年実績を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ67百万円増加し、811億36百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少し、317億43百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ17億38百万円増加し、493億92百万円となりました。これは主に、関東工場の新棟建設関連の建設仮勘定の増加によるものです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億17百万円減少し、99億28百万円となりました。これは主に、未払金の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、14億36百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13億94百万円増加し、697億70百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の84.3%から86.0%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円減少し、131億13百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払等があったものの、税金等調整前四半期純利益を23億70百万円、減価償却費を15億56百万円計上したこと等により、32億62百万円の収入（前年同四半期は27億73百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、41億23百万円の支出（前年同四半期は27億12百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、6億31百万円の支出（前年同四半期は5億55百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当グループを取り巻く事業環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、当期の連結業績は概ね当初(2020年3月期決算発表)の予想どおり推移すると見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,605	13,113
受取手形及び売掛金	9,828	9,723
商品及び製品	946	1,193
仕掛品	335	402
原材料及び貯蔵品	7,348	6,806
その他	350	506
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	33,414	31,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,950	38,131
減価償却累計額	△24,364	△24,806
建物及び構築物（純額）	13,586	13,325
機械装置及び運搬具	30,405	31,096
減価償却累計額	△19,120	△19,970
機械装置及び運搬具（純額）	11,285	11,125
工具、器具及び備品	2,153	2,212
減価償却累計額	△1,765	△1,773
工具、器具及び備品（純額）	388	438
土地	14,074	14,074
建設仮勘定	2,148	3,690
有形固定資産合計	41,483	42,655
無形固定資産	349	350
投資その他の資産		
投資有価証券	3,941	4,515
繰延税金資産	340	334
その他	1,546	1,542
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	5,821	6,386
固定資産合計	47,654	49,392
資産合計	81,068	81,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,928	3,881
未払金	5,052	3,428
未払法人税等	1,023	1,244
未払消費税等	6	193
賞与引当金	494	506
預り金	156	160
その他	585	513
流動負債合計	11,246	9,928
固定負債		
長期末払金	199	199
退職給付に係る負債	1,183	1,184
従業員株式給付引当金	61	52
固定負債合計	1,445	1,436
負債合計	12,691	11,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,566	6,566
資本剰余金	7,499	7,499
利益剰余金	60,118	61,095
自己株式	△6,910	△6,900
株主資本合計	67,273	68,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,191	1,589
退職給付に係る調整累計額	△88	△79
その他の包括利益累計額合計	1,102	1,510
純資産合計	68,376	69,770
負債純資産合計	81,068	81,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	31,807	31,495
売上原価	18,932	18,510
売上総利益	12,875	12,985
販売費及び一般管理費	10,902	10,808
営業利益	1,972	2,177
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	90	86
受取賃貸料	52	49
売電収入	32	32
その他	28	57
営業外収益合計	204	225
営業外費用		
支払利息	1	0
賃貸費用	13	13
売電費用	11	11
その他	1	8
営業外費用合計	28	33
経常利益	2,148	2,369
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	13
国庫補助金等収入	-	46
特別利益合計	0	60
特別損失		
固定資産処分損	129	12
関係会社清算損	-	47
特別損失合計	129	59
税金等調整前四半期純利益	2,020	2,370
法人税、住民税及び事業税	815	936
法人税等調整額	△155	△173
法人税等合計	659	762
四半期純利益	1,361	1,607
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,361	1,607

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,361	1,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27	398
退職給付に係る調整額	9	9
その他の包括利益合計	△18	407
四半期包括利益	1,342	2,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,342	2,015
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,020	2,370
減価償却費	1,440	1,556
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15	14
受取利息及び受取配当金	△91	△87
支払利息	1	0
固定資産処分損益(△は益)	128	11
関係会社清算損益(△は益)	-	47
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△13
売上債権の増減額(△は増加)	713	108
たな卸資産の増減額(△は増加)	622	212
仕入債務の増減額(△は減少)	△194	△207
未払金の増減額(△は減少)	△235	△214
未払消費税等の増減額(△は減少)	△271	203
預り金の増減額(△は減少)	△91	4
その他	△308	△230
小計	3,763	3,787
利息及び配当金の受取額	91	87
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△1,080	△611
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,773	3,262
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,857	△4,018
有形固定資産の売却による収入	11	0
無形固定資産の取得による支出	△32	△40
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
投資有価証券の売却による収入	10	21
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△676	△46
その他	△159	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,712	△4,123
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	481	-
長期借入金の返済による支出	△466	-
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△570	△631
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555	△631
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△494	△1,492
現金及び現金同等物の期首残高	15,224	14,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,729	13,113

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(追加情報)

連結子会社の解散

当社の連結子会社である味富士株式会社は2020年9月30日付で解散し、現在清算手続き中であります。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円)

製品情報	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		増減額	(参考) 前連結会計年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
惣菜製品	10,700	33.7%	10,629	33.7%	△71	22,684	34.3%
昆布製品	8,555	26.9%	8,289	26.3%	△266	18,060	27.3%
豆製品	6,332	19.9%	6,067	19.3%	△264	13,767	20.8%
ヨーグルト製品	3,495	11.0%	3,837	12.2%	342	6,907	10.4%
デザート製品	1,889	5.9%	1,735	5.5%	△154	3,165	4.8%
その他製品	833	2.6%	935	3.0%	102	1,586	2.4%
合計	31,807	100.0%	31,495	100.0%	△311	66,171	100.0%

(注) 増減額は、当第2四半期連結累計期間と前第2四半期連結累計期間との比較で表示しております。